紅糧價錢五吊四百文至五吊
參市共上車三十餘輛
邊車共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一邊紙 一連 一圓
一フールスカップ 全 四圓
一中判洋紙 全 二圓
一半紙 百枚 二十錢
一卷紙 四十枚續 十四錢

一帽子 一圓五十錢以上四圓五十錢
一靴 三十圓以上三十五圓
一卓子 四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛 六圓以上十二圓
一厨房用戸棚 七圓五十錢以上十圓

一絨毛布 一枚 四圓以上六圓五十錢
一長火鉢 八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢 二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢 一對 六圓以上九圓

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

廣告料
特別廣告 半ヶ月以上一ヶ月以內 銀十五仙乃至十五
一長期連揭載價面議
銀四十錢

發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社 （電話二九番）

滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人幷無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議
從減 每張四百文

特別賣告

告示

一本年二月より六月に至る牛家屯間土地貸下料未納者にして七月十五日迄に尙納付せさるものは其土地の貸下を廢除す

明治三十九年六月二十六日

營口軍政官 與倉喜平

公告

電話交換手募集

當局電話交換手を募集す志願の者は（滿十六年以上二十五年迄にして高等小學卒業若しくは同等以上の學力を有する視聽力完全なる日本人に限る）志願書に自筆の履歷書を添へ携帶出願すへし

明治三十九年六月

營口軍政署電話局

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告

立神丸 七月六日午前營口出帆 太沽、芝罘、長崎、神戸、門司行

大連出帆

横濱丸 七月六日 大連出帆 門司神戸行

乘船切符發賣は出帆前三時間マデ未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店 旗昌洋行（電話二六番）

大阪商船株式會社 營口瀛船出帆廣告

能登丸 七月八日 門司行

潮州丸 十二日 入港

代理店 ブンシュ兄弟商會 東營口公園地横 遠來洋行（電話二十三番）

瀛船出帆廣告

日海丸 七月六日 門司行

鷹取丸 七月八日 門司行

万成源丸 龍口登州府定期

中國丸 仝

松茂洋行船舶部 海岸東稅關西 電話（五二五七）

▲資本金貳千四百萬圓

▲積立金一千壹百五拾萬圓

横濱正金銀行牛莊支店

本支店出張所 横濱 神戸 東京 長崎 大阪 倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇 孟買 香港 上海 漢口 天津 北京 大連 旅順 奉天 遼陽 芝罘 鐵嶺

（第十六支配人室）（電話百八番 總務室）

宅洋行

啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子布手巾花巾洋傘火柴鐘表等類價値格外克已並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業所便貨客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周詳偉可面商一切事宜幸中外士商懇其誠實無欺惠臨賜顧是所企幸之至

總司理人 田中賴之助謹白

開設老爺閣街同盛德院內 電話（店一八三番 住所五五番）

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麪糖煤雜貨發行並滙兌銀錢彙代客經理買賣租船運貨事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合實設有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷

總司理人 葉亮卿謹白

東永茂

横濱營口在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之

正理事 孫玉田 副理事 金德魁 設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專營裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞

本主人敬啓

仁裕號

保險運各幇火輪船生意彙賣各制洋什貨糧石等貨物

營口西大廟街路北警乙第十三號

志岐組

本組開設營口綏定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價値格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸

本主人謹白

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議

西北街 東櫃（電話九十五番）

西義順棧內 西櫃（電話九十八番）

志岐組木料棧 材料出售

啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨綠江之各種木料品質精良價値格外從廉克已凡中外士商光顧請面議 顧請到本棧

SP 糸平公司

本舖在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品貨美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種綿布其他一切織物概行發賣並特約販賣（正日光）皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告

朝日ビール特約大販賣

營口元神廟街元神廟南邊路西（電話一百九十二号）

三井

電話 第六十六號 第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候（電話百二十八号）

經理

○明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米、

○東京水險公司

啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

三井洋行啓

啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨屯集資本浩繁有保險以維持之可以有恃無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有王鹿芹郭漁笙朱斐章先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦 諸貴商所樂聞乎如蒙 賜顧請逕至大德亨內面議可也

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數客惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即般實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉 僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事 僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克已 諸公賜顧請 駕臨大德亨內面議不誤

王鹿芹 朱斐章 郭漁笙 仝啓

洋行

電話 第六十六號 第九十一號

工 飯塚工程局材料部

營口元神廟前（電話百三十五番）

弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道産松大角材外種々

一石灰、石材、敷石、砕石、煉瓦等

一日本石炭數種

營口 承文信記書坊

現寓西大街粵東會館南阜豊棧內專售古今書籍及石印教科新書石板石粉筆等一概俱全如蒙 士商賜顧者價照批發格外克已不悞

本號主人謹白

周 鐵道遼河 裕和盛運輸局

在東營口西北街旗昌洋行對門（電話八十一號）

啓者本號向在日本長崎開設數十年幷店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧

總司理主人 周鶴雲 運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

丸重轉運行

啓者本行前經關東總督之特准開辦東清鐵道轉運行專代客裝運貨物安全速達價亦格刻公道以致名聲日增今又各車站皆設分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面議是荷

營口西北街（電話十八號）

既設分局 牛家屯車站（電話四十六號） 遼陽、奉天、昌圖各車站

銃砲火藥 軍刀販賣業

本行蒙 官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等類物美價廉零整發售如蒙中外士商賜請至本行面議可也

官許商 武田洋行 營口元神廟街第十號

關東玻璃公司

本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉

光顧者請至營口永世街 第五號門牌便是

青堆子 菅野玻璃廠

玻璃器什遠運必有破壞從價不廉玆本主人開辦玻璃廠特聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一概發賣價値公道主顧不誤官商幸給顧光特告白

本主人謹白

森醫院

營口永世街 森醫院 院長醫學得業士 森 嬌

齒科部 主任齒科醫士 兒島市郎

啓者本院雖開辦日淺刻已招聘醫員增加看病人購入醫療器械修補手術室並養病室萬端設備日形進境自四肢五臟之病以至打撲創傷等類皆能立刻醫治頃者更添設齒科特招聘該科專門醫兒島市郎君已自四月八號起開辦從事齒患者之治療按齒牙之於人體極有密切之關係其健否即不翅繫胃腸之健否缺落一齒則音聲爲之澁濁面貌爲之失形況疾患權於齒牙始雖一小齲齒漸次侵蝕隣齒遂使全齒失其咀嚼之力疼痛不可言狀轉輾反側主爲難堪因之東國夙有齒科專門之醫研究多年備極蘊奥巧技入神齲齒凹窩則須薪去疼痛而後填塞以金銀護模西門土等品若門齒缺落則以磁製之義齒欲入齒株無殘根者則以護模製之座床列植義齒其他或鑲齒頭以金冠或欲人義齒不須床架巧技殆奪造化之妙若有齒株無要者則因藥液之力拔去毫無疼痛今世患齒牙者日多而治療之法日益進步幾不憂有齒患矣然中國醫界之風潮尙未發達治齒之術措而不問殊爲憾事本院主引爲已憂測然感動特添設齒科招聘專門大家以從事齒患者之治療刻設備已全施治懇到其術極巧其價極廉以期普遍救治並發揮近世東瀛醫術之進步務望大方君子有齒患者幸早臨治療勿自貽誤此佈

遼河總運輸 同濟公司

本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨望交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙貴商光顧者請附本號面議特仰遇知

營口南永世街 同濟公司總局

馬蜂溝 同濟公司分局

營守屯 同濟公司分局

通江子 同濟公司分局

奉天電報

●奉天の林公使（五日午後六時二十五分發電）　林公使は昨日奉天將軍の午餐會に招かれ午後は萩原總領事と諸般の打合をなし晩景には米國獨立祭宴會に列席し本日は午前九時池內軍政官と共に北陵に詣で晩け總領事を同伴し守備聯隊の夜會に赴けり

倫敦電報

●米國鐵道の椿事（二日發電）　米國航路接續線プリモウス發急行列車倫動及西南線路サリスベリーに於て脫線し死傷者約六十名を出せり被害者は主に米國人なり

雜報

●大連の清國稅關　大連灣を開放して自由港制度を實施し我租借地域內に出入する一切の貨物を無稅にすると同時に租借地以外に出入する貨物を取締るへき清國稅關を設置せんとする其地點及び方法に關して目下熱心兩國當局者間に交涉中にして未だ確定の塲合に至らさるも若し我租借地以外に稅關を設置するとせば數ヶ所のみにては十分に取締る能はさるのみならす執務の手續繁雜に流れ統一を保つ事甚だ困難なるべきを以て日清兩國協議の上大連灣の某地點を選定して玆に清國稅關を設立し我國の監督の下に十分嚴格公平に取締ると共に清國より稅關收入の幾分を我國に納收せしむる事に決定するならんといふ

●佛國海相と日本海軍　五月中旬佛國海相トムソン氏は同國地中海艦隊乘組士官を招待し一塲の演說を試みたるか其の一節に曰く物質的優越は勝利を得るの要素なりと雖も勝利を確保するは人にあり日本海軍の勝利は其將卒不撓の熱誠に歸す此の敎訓は吾人に敎ふるに每年の演習に全力を盡すへき事を以てす我等は常に用意し居らさる可からす如何となれは諸君の知る如く不意を喰ふ事は最も不利益なればなり云々

●稅法調査の內容　大藏省に於て會議を重ねつゝある稅法調査會の調査せらるへき內容に就て漏れ聞く所によれは其範圍極めて廣汎にして既に課稅せられつゝあるものは言ふまでもなく今後課稅の見込あるものは種目の大小輕重を問はす或は民間よりの提案を議題とし或は地方官廳よりの調査を資料とし調査せらるる次第なれは本會議の結果は從て來年度の豫算に影響を與ふへく傳へらる尤も此頃娼儀稅をも來年度より課稅せらるへき樣傳ふるものゝあれともコハ事實にあらすして唯該調査書類に右等の如き文字ありたるより自然誤傳せるものゝ由

●東鄕大將と博覽會　明年米國ゼームスタウンに於て開會の博覽會には各國艦隊を招待するの計畫あり我國に向ても艦隊一部の派遣を求むるは勿論、東鄕大將を招待し猶は瓜生中將等の渡航をも希望し居れることは過般の紙上に記せしか我海軍省にては艦隊派遣の事は其經費に對し議會の協贊あるときは喜んで招待に應すへきも唯、東鄕大將は身、軍令部長の要職に在るを以て海外に遊ふか如きは事情之を許さゝるものあれは大將同行の事は目下豫め其諾否を決するを得すとし回答を爲すとに決し外務省を經て其旨回答すへしといふ

●軍制調査方針と經營　昨今若手中なる軍制の調査は軍機保護の必要上當局者は之を永久秘密となすの方針なるよしなるも調査の結果經費の關係上議會と協贊を經さるへからさるものは極めて大体の案となし之か說明は秘密會に於てなす筈なりと當局者は語れり

●要求改築說　旅順要塞戰の結果として要塞の防備に一大改正を要すべきを發見し下の關紀淡海峽、舞鶴、函館等の諸要塞の防禦計畫を變更することに內定せりとの說に關し一軍人は語りて曰く元來旅順要塞の工事は差したる新規模の者に非ずして斯の如き工事は我諸要塞とも既に之を施しつゝあり尤も實驗に依りて得たる智識は多少之れなきにはあられざれば獨り要塞のみに限らず步騎砲工皆然らん故に未成工事中止の如きは全く無根なり尤も軍事上に如何なる改良を加ふるに至るや測知し得べからざるものあれば之と同時に要塞を改築する事あらば夫は全く例外なり云々

●雲山金礦の殷賑　韓國雲水金礦は先に米國人によりて採掘開始せらるゝと共に近隣の韓人を吸收し何時しか殷賑なる小市街となり每月六回宛定期市を開き卸れるが每市取引頗る盛にして一日の取引高二千圓以上に上り商業の盛なると

●伐木事業の收支計算　平安北道第一なりと鴨綠江の伐木事業は專ら把頭と資本主との信用貸借に依り行はるゝものにして大体資へ金一万圓に對し二十八筏乃至三十二筏（一筏は我が二百五十尺〆）を供給するの契約なるが其利息の如きは頗る高率のものにして一ヶ年一万圓に對し七千圓乃至八千圓の利子を支拂ひ居れり而して同地に於ける伐木事業一年の總生產費並に收益を擧ぐれば卽ち左の如し（石北山林技師の調査に依る）

生產費總計　百十七万五千七百四十五圓
收益　百九十四万九千十八圓
差引　七十七万三千二百七十三圓

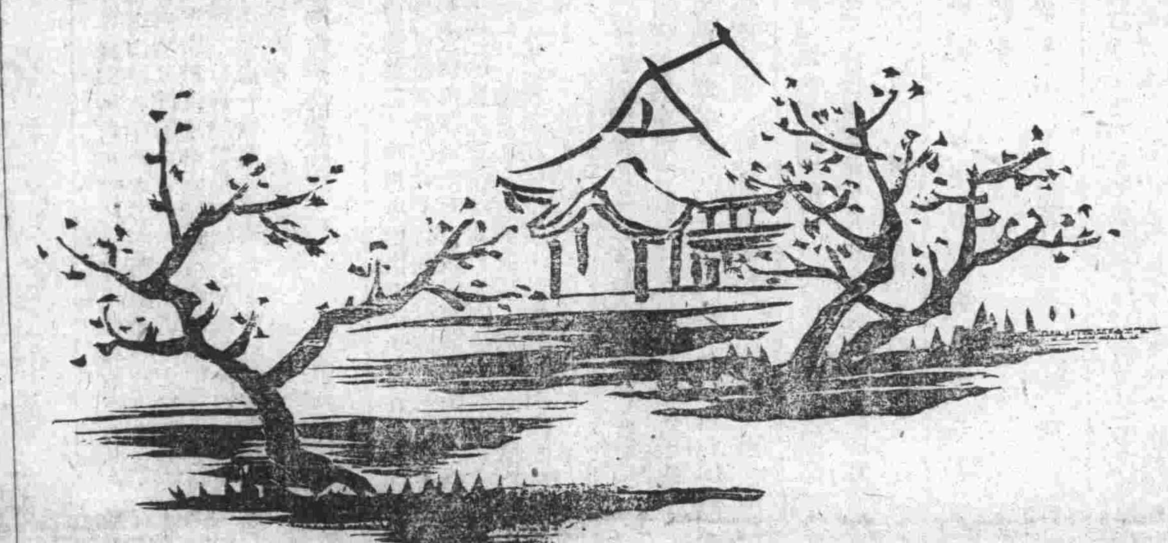
卽ち一年六割五分の利廻りに當るものにして每年三千五百筏乃至五千筏を生產する計算なりと云ふ

●艦隊遣歐說の無根　裝甲巡洋艦筑波艤裝完成の上本邦沿岸を巡航し更に戰利艦石見と共に歐洲に向ふべしとの說を爲すものなれど右は或る一部の希望に止まり經費其他の關係もあり今俄に實行するは六ケ敷かるべし

●兵器用材と胡桃　日露戰爭に當り兵器用材中最も其缺乏を感じたるは銃の臺尻に使用する胡桃にして當時は止むなく山毛欅を機械力に依り乾燥して之に代用したる由なるが鴨綠江右岸の森林には胡桃の生產多く其價格の如きも至つて低廉なれば之を利用するときは鐵道の枕木、工藝用材として非常に有望なりと

●林公使の來營　駐清林公使は赴任の途次滿洲を視察すべく既に安奉鐵道に由り奉天に來着せしとは前號の紙上に記載せる所なるが同公使には愈〻昨日奉天發遼陽に立寄り本日午前九時牛家屯着の汽車にて來營せられたり

●正隆銀行の開店　當營口に於ては橫濱正金銀行支店以外に日清兩國人協同の一銀行を設立せは翅に兩國人の間のみならす一般市民の便利極めて多かるへしとは從來或一部人士の間に唱道せられたる所なりしか豫て清國人との間に最も密接の關係を有せる深水十八氏は今回愈々清人と共同資本を以て正隆銀行なるものを設立し去る一日より東營口西北街に於て開業せるか其資本金は銀十六萬兩にして其營業科目は預金貸付金爲換等普通に銀行の取扱ふ一切の事務を取扱ふ由にて殊に長崎神戶大阪東京橫濱上海天津地方には日本の銀行と引合を有するを以て爲換取組には最も便利なりといふ予輩は日清兩國が翅に政治上に於て居齒輔車の關係を有するのみならす其人民亦相互に接近して經濟上實業上の同盟を事實の上に表顯せる機運の到達を悅ばすんばあらす因に當正金支店に於ても同銀行に對し其設立を以て一般市民の利益と爲し背後の援助を與ふる筈なりといふ



●米國領事館の夜會　一昨日は米國獨立紀念祭に相當するより同總領事館にては同日午後九時より在留外國人數百名を招待して總領事サンモンス夫人副領事バンジネール夫妻等主人となり稅關長クラーク氏と共に專ら斡旋の勞を採り數番の舞踏さへあり一同歡を盡して十一時過る頃退散したりと云ふ因に在留日本人にして招待されたるは與倉軍政官瀨川領事等成と云ふ

●日本人會の請待會　當地日本人會に於ては會長中村錠太郎氏主人と爲り目下滯在中の福島次長山座局長一行を昨五日午後六時より新市街地なる春帆樓に請待して晩餐會を開きたるが來會者は福島次長山座局長兩正賓の外與倉長官瀨川領事及び在留邦人の主なる人にして主客觀を盡して九時頃散會せりといふ

●遼陽ラムネ製造　遼陽に於ける夏季の飲料用ラムネ製造は同地西門外林洋行及西關眞水舍の二ヶ所にて孰れも供給しきれぬ程の大繁昌を極めおり就中林洋行は原料を精撰し注意を怠らさるより需用最も多く晝夜の別なく製造しおれるが更に又西街七二洋行にては此程內地より新式器械を取寄せ不日開業すべく目下其準備中にありといへば開業の曉には斷然直段の競爭は免れざるべしといふ（遼陽通信の一節）

●營口禁酒會　在牛家屯なる營口支庫內に於て同支庫長金子義友氏の發起にて二ヶ月許り前より營口禁酒會なるものを組織し飲酒の弊害を矯正しつゝあるか更に其旨意を一般營口在留民に普及せん爲め明七日午後七時（營口時間）より同支庫內に於て同會を開き金子氏外一名より禁酒に關する講演ある由なれば有志の士は參聽せらるべしとなり因に目下會員は三十七名にして重もに同支庫附の軍人軍屬なりといふ

●獨艦長の訪問　一昨日午後五時入港せし獨乙砲艦チグル號艦長少佐フオン、アベツケン氏は昨日午前十時同國代理領事メツガー氏と共に與倉軍政官を訪問し與倉軍政官は答禮の爲め午後五時同艦を訪問せり

●獨領事館の移轉　獨乙國領事館は代理領事メツガー氏の着任と共に福來洋行の一室にて執務し來りしか今回茂生洋行跡を借り受け移轉準備中なりと云ふ

●モリソン氏の來營　倫敦タイムスの北京通信員モリソン氏は本日新民屯より鐵道橋の視察を終へて來營する筈なり

●露領事夫人の分娩　露國領事ペルチエンコー夫人は四日午前女子を分娩したりと云ふ日本領事瀨川夫人は先きに男子を分娩し日本の勢力に一分子を加へたるか露國領事夫人亦た女子を分娩して露國婦人の新勢力を加へたり面白き對照ならずやとは口さがなき支那童子の蔭口なり

●ナーゲル號を訪ふ　一昨日午後突如青島より入港したる獨乙砲艦ナーゲル號は濁水滔々たる遼河の水面に白鳥の如く泛び楚々として蕪駁無趣味の風物に一點の風情を添へぬ、是を諭へは單調なる楊樹林中に凉けに裝ひたる白衣の婦人の逍ふを見るか如し、美感と云はんよりは寧ろ人をして快感を惹起せしむ、予は此のチャームに打ち勝つ能はすして車を命じサンパンを命じて同艦を訪ひぬ、右舷の舷梯を攀ぢて舷門に立ちしとき舷門哨兵は來意を訊せり而して更に甲板士官に通せり、まだ年若き丈け低き快活なる甲板士官は予を招じて艦長室に導きぬ、艦長少佐フオン、アベツケン君は打ち見たるところ漸く四十、北獨乙人に通有なる甚だ快活らしき瀟洒たる風采に滿面の微笑を泛へて余を應接室に迎へたり、應接室は艦尾にありて室內の裝飾は甚だ質素にして單純なり余は先づ是れぞ夏向の裝飾なるべしと思ひぬ（つゞく、まさ）

●銷夏錄（二）　小樹生

花の巻

筑波根の峯にはなほ殘んの雪をとゞめて餘寒未だ全く消えやらず上野の彼岸櫻漸くに睡りより覺めてチラホラと笑み初むる今年の春の頃、與倉中佐が夫人を携えて再びこの營口の任地に向はるゝので、余は病餘の老友と共に之を國府津停車塲にまで送つて往つて其夜は小田原城趾の麓なる時本とかいへる茶葉に松籟を聽きつゝ一泊して久し振に俗腸を一洗し翌朝午後四時國府津發の滊車にて東歸したのであつた。

廣くもあらねど一等室は友人と余と二人切りで占領してゐて急行でないで御丁寧にも各驛訪問と來てゐるのでその退屈さ加減も亦一入であつた。

大磯各驛も過ぎてヤツと茅ケ崎停車塲に着いた時一人の乘台を得た而もそれが婦人である、婦人は入口なる余と老友と差向ひの席をば目禮しつゝ通り越して奧の方に坐を占めた。

見渡すと三十前後の稍〻姥櫻ではあるが殘んの色香をば眉宇の間にとゞめて捨て難い風情があるのみならず、江戸ツ兒風の頗る意氣な女である。

老友は宿痾未だ癒えざるに病を勉めての旅行であるゆゑ腰掛の上に寐そべつて時々煩悶の聲を漏らすので頗る該の婦人の同情を惹ひたらしくしとやかに余に向つて

『お伴れの御方は何處かお加減でも惡いので御座いますか』と問ふたので簡單にそうですと答へた。スルと婦人は再び語を次いで

『妾の舍弟も長らく肺を病んで茅ヶ崎の高田病院に入院してゐますので今朝妾はその見舞に參りまして今還りがけであります、妾も序に高田先生に健康診斷を受けましたが今の處は大丈夫だとの事で安心しました、弟も咯血が止りさへすれば少しは樂になるのでありますが……』

彼の婦人は疑ひもなく肺病患者の血統であるてふ事を初めて覺つたのであるので『それは〳〵嘸かし御心配なことでありませう』と一言挨拶に及ぶと婦人は謝しつゝ

『妾の宅は橫濱の年花町ですが母一人に三人の小兒を守り育て、それに辨天町の方にも店を持つてゐますので舍弟に煩はれてほんとに困つて仕舞つたのですよ』と綿ゝとして尙も語り出でんとするを遮つて

『良人は洋行でもなすつてゐでゝすか』

『ハイ丁度三年後に弟のような病氣で冥土に洋行しまして妾は今では寡婦の憐れな身の上であります、それで外に望みも樂みも御座いませんので、年に一二回づゝ閑な時を見計らつて母や小供を伴れて箱根か熱海に湯治に參るのでありま す……』この婦人も亦早晩彼の恐るべき肺結核の惡魔に取殺さるべき運命を有するを思へば身の毛も辣立つ許りにて折しも春の日はトツプリと暮れ果て、列車の中なる電燈が點ると婦人の容貌が一しほ蒼白て見えた、而して余が手にしてゐた時本の樓婢が折りて與れた籔椿の花は弄るともなしにホロリと足許に落ちたのであつた

●東西南北　關東總督は官制の發表と共に總督を改めて都督の稱號を用ゆるといふ噂がある其理由とする所は露清間に嘗て總督の稱號を用ゐぬといふ約束があつたから露國の權利を繼承したる日本は特に此に意を用ゐる筈だ次てある東太守の原語ナメーストニクは大總督とも譯さるべき性質のものである▲兒玉參謀總長督近き將來に於て他の或要職に補せられ桂前首相其後を襲ぐといふ話がある參謀總長の椅子を政治屋といふか何んだか受取れない話てある露國の極の廻持にせられちや軍國の前途寒心に堪へない次第てある必ず齋東野人の言であらう▲戰後の財政は困難の上に明年度の豫算は又々膨脹の義無さに至つたさうだ何うせ足りないならウント借金して乘るか反るかで遣つて見るのがよい併し今の廟堂諸公には惜しむらくは才覺の道に於て全然無能であるのである▲此度勅令を以て發布せられたる滿洲鐵道は政府の出資したる財產てあるから勅令を以てしたのは憲法違反てあるといふ理由で憲政本党は次期の議會に政府をいぢめやうとして居るげな理屈屋程五月蠅ものは無いか理非は必す正すへきてあらう▲利源調査員とかいふものが又々各府縣下より三四百も入り込んで來るさうだや無論赤毛布の土百姓共で差したる効能も無いだらうが來て喫驚する丈けでも好き覺醒劑である▲破損佛像七十餘體を買飛ばして興福寺基本財產二萬圓を作つたさうだが佛あつての寺なるに左りとは恐入つたる遣り口で無いか滿洲經營も佛體や龕子迄も賣ら無い事に願ひたいものである

臨暫與秦詞契分袂　岩城黃雨

詞情臨別却難言、萬感一時欲斷魂、自許官遊三週後、再來斯地拜名園

同

春風一路拂征衣、自耻無功空欲歸、勿說驪歌腸斷曲、奈玆折柳對殘暉

日報俳壇

露置て紫ふかき茄子かな　醉雨
植乙女三十越した名にあらす　仙橋
衣更糊のかたきを愛すかな　稻波
月並の發句聞きやすゝみ臺　枕石
石燈を赤き團扇の下向かな　老兵
仇さきのとれとも見ゆす瓜の花　默堂
名に立ちし清水に近き小家かな　千曲
五月雨の終りを見たり馬蜂溝　一寒生
夏痩の怨みをおくる寫眞かな　半骨
蚊の聲に鯨ゐぶらのとぼしかな　野梅

關內外鐵道　上り　營口發前八、二〇　七、〇〇　溝幇子同九、四五　九、〇〇　下り　山海關發前七、〇五　錦州同后三、二五 [illegible]

東清鐵道　上り　新民屯發前六、〇〇　溝幇子着同九、毛　下り　溝幇子發后三、〇〇　新民屯着同六、毛

淡谷　本號開設營口東青堆子發貨 [illegible]

歐米各國最新流行形 [illegible]　電話百

諸鐵工製作　營口 [illegible]

天氣　營口地方天氣豫報　自七月五日午後六時至六月六日午後六時

雜報

●關倉運動會景況（遼陽）　夜來雨霽れたる七月一日遼陽關倉支庫にては運動會を兼ね留送別會を行はれたるが會場は名に負ふ喇嘛塔公園にして入口には壯麗なる綠門に大扁額を掲げ翠色滴る綠樹の間に無數の萬國旗は紅燈と相映じて縱横に吊され微風に飜々として壯觀を極めたり午前十時會員及來賓者の集合を竢ち小野支庫長は會の主旨を述べられ了はり宴席に移りて間もなく太鼓の合圖と共に運動會は開始されたり其の番組數十回每度の取組に拍手喝采の聲は天地も振撼せんばかりに起りたり余興として紅裙の手踊舞は是亦過日慈善演藝會に出演したる藝妓の現はれたれば殊に衆目を索き舞臺前は人頭を築きたり軈て午前三時を合圖にかねて設備せる數ヶ所の摸擬店は一時に開店せしを以て健啖家扨ては豪酒家酒党甘党三々伍々左往右來一時に押寄たれば何れの店頭も大繁昌と大混雜就中大佛餅の如きは內地に於る大佛餅のそれの如く拍子善き曲搗に紘曲を交へたるより人氣を呼び始終店前は雜踏を呈せり當日は多數の軍人軍屬擧りて集まりたれば其盛大なること筆舌に盡し難く實に遼陽始まりて以來の盛會を告げ參會者の蹌踉蹣跚飯路を辿る頃は午後七點鐘過ぎなりと云ふ

●男地獄の罠に引罹る　田舍大根でもおろして鰹節を振り掛けて味へば萬更棄てたるものにも非ずとかや茲に平野町滿月樓の抱女におユウとなん申し侍べる女郎、今日この頃猫の交尾期にもあらぬど御近場喜樂亭の三毛猫ドラ猫共が馬鹿狂ひに浮身を窶せるを見るにつけ聞くにつけお羨しさの內々アレかコレかと思を籠めて當りを付けし結果去る五六日前の夜ツウ〳〵敷も營口座の樂屋に押かけ花岡　玉木など云ふ男地獄本職にチヨツカイを掛けて見たるに元より此方はヨイシヨ御座つたりと得意の閨術を施せばおユウはフン妾の腕はザツとコンナものさと兩手に花の眺を誇り居れば朋輩のおキク已れ小癪なと飛んだ所へ力瘤を入れ美事橫取の功名手柄をせんものと冬着の衣類や吾妻コート迄も殘らず一六銀行に持ち運び大枚銀三圓七十五錢を得たれば早速手始めに花岡へそれと色目で通ずればヲツト承知と目の返辭おキクの喜び天へも上る心地して芝居の終てを待ち受けて二人連れ立ち公園のロヘ臺にて一夜の夢を結びし以來は氷屋、うどんや邊りで逢引し花岡の天晴優姿に〆ヅツコン逆せ込み「妾も早く廢業して女役者になつて紫ちやんと　所に舞臺へ出て見たいよ」と掻口說けば花岡はヲツトヨシ〳〵又の逢ふ迄この時計〆怪しげなアルミの懷中時計を渡して別れともない淚に西と東に別れしは一昨夜の事なるが何れ遠からずおユウの耳に入ればこれから同志打の大舞臺と近場の評判大入〳〵

●遼陽の喰逃沙汰　苟も身に制服を着けたる相當の軍屬にして僅か數圓の遊興費を惜しみ喰逃するなど、は以ての外にて軍屬の面汚しと云ふべけれ去る、二日午後三時頃の事なりき身には近頃新調せし雇員服を麗々敷着けたる三名ののいと橫柄なる構へにて遼陽料理屋豐盛館に來りたるものから同館にては不景氣の風吹き荒む今日此の頃善くこそ御座なれと言はぬ計りに厚く待遇なし殊に新顏の客人なればとて痒き所まで手の届く樣座敷も瀟洒とした上等室に案內なし何呉れとなく萬端に氣を配り御意の儘〳〵札幌ビールは行かぬキリンに限るとの注文あれば早速使を走らしてキリンを取寄せなどして親切に取扱ひおりたるに夜に入り他に三四組の客人あるに仲居も忙敷一寸手を拔づしたる隙間に件の客は影も形もなく見當らざりしかば扨ては喰逃げに遁ひしかと始めて驚きたる程にて此の勘定僅か八圓六十錢に過ぎざるを惜しみて喰逃したりとは苦々敷事と云ふべし

●又も文廻屋覗　拂へど來る夏の蠅とでも云ふべきか豫て其筋より嚴達ありし如く邦人の文廻屋覗きは嚴禁せられたるにも係らず其筋の目を恐んで往々一六勝負を爭ひに出懸ける奴等の多きは實に驚くの外なし現に一昨日の如きも伊藤幸藏、前田實藏、道山清七、草刈太郎　坂田九三等富貴樓內の文廻屋を覗き拔けつ穩れつ勝負をなし居る所を市街巡視の憲兵に咎められ嚴しき說諭を受けたりとは飽迄困つた者共なり

●金を請求せられて亂暴　元神廟街ニ船寫眞館雇人三船米藏は一昨夜午前一時四十分頃元神廟街菊の家に登樓して藝妓を聘し太羅腹飲み喰ひしたる揚句いざ勘定となりて請求すれば錏一文も所持せず明日來いなど、橫柄な言葉附をなして其儘立ち歸らんとするに依り仲居が引留めて蹴るなど亂暴を極家內總掛りて制止すれど中々聞入れず終に其筋に訴へ、れて憲兵より大きな目玉を截き今迄で飲んだ酒も夢の如く覺めて閉口頓首とは隨分器量の下がつたお話なり

●藝酌の歸國と鞍替　近頃鐵道に汽船に續々殖る者は賤業婦のみにて其數實に七百余人の多きに達し尙頻々渡來の傾向あるが其內に新陳代謝とも云ふべきか歸國又は鞍替する者も非常に多く昨日の如きば酌婦九人の廢業者ありたりと今其行先を記せんに

第二大吉樓石川スウ　吉田行雄內緣の妻
東京館次郞事和田ミナ　吉田庄三郞方へ食客
東京樓片山ヌイ　淸人翟朗齋の妾
日本館島田フジ　內地歸り
玉鮓樓はがき事高宮サク　同
祇園閣宇の吉事木村ミネ　同
仝野田ヒサ　同
大坂濱冬野キタ　大石橋へ鞍替
日淸館吉廣ヨシ　同

●藝題　營口座　同座今晚の替り狂言及役割は左如し

短銃強盜　淸水定吉　全七幕

序幕、築地備前橋の場、二幕質商杵屋店先の場、三幕交番所の場、四幕墓地の場、五幕吉原衣紋樓散財の場、返し吉原裏田圃の場、六幕八松警察署秘密講究會の場、七幕大川端捕縛の場。

役割、淸水定吉（花岡紫郞）車夫幸吉（川上猛）佃三次郞藏（吉村萬千雄）娘お梅（玉木章吾）山川巡查（山縣數馬）刑事花山（藤田義雄）刑事本田（荒川淸）加藤部長（秋田次郞）佐伯署長（櫻井一醉）

廣告

告示

七月四日第八回懸賞捕鼠抽籤執行の處其當籤したる番號左の如し

一、當籤者賞金受領に付左の通り心得べし

二、當籤者は七月十五日迄に衛生局に至り當籤札と引替へ賞金受領す可し若し此期限を經過するときは其當籤效力は消滅す

三、當籤金額
一等銀五十圓　二等銀拾圓
三等銀二圓　四等銀一圓

譯文

七月四日第八回ロ鼠拈鬮施行而左開得彩號目自示之後十日即七月十五日以內其得彩者各携原領執照往赴衛生局領銀可也若過期未來領銀時將來其票爲歸廢棄爲此特示

一、定爲
頭等銀五十圓　二等銀拾圓
三等銀二圓　四等銀一圓

第八回捕鼠懸賞抽籤當籤番號

一等　二等　三等　四等

一五九　三八〇　一六一一　八八五　一六一三　一〇八二　一九八二　二〇八一　一一二〇　八四一　六五九　二二九四　二一五九　二〇四五　八四三　一三二

二二九三　二七四二　二七　三九　二七四八　一八二三　八九九　二六四七　二七〇七　一〇六二　一五二三　一八〇三　一五〇二　一五七〇　二三五二　二〇三一

八九〇　二二九七　一一八二　二六八二　一一七九　一一七六　一五一五　五九〇　一五八　二六三一　一三六一　五六二　一〇一一　六一四　一一五四　二七七七

一五　八九五　一二〇二　一二四五　二三六五　一三六　二一一一　二三三六　二七五九　一五六七　二七二六　二四　二一〇三　二二八八　一二四〇　一九一二

一八六二　一三八一　八九　四五三　一一四　三五四　一五四六　一五六四　八一一　二七〇四　九五　二七一八　九一五　四七一　五四七　一五八五

今七日午後七時（營口時）より月次會を營口支庫內に開く
辨士　會長 金子義友君　益富政助君
演題未定　克己
七月七日　營口禁酒會

●松岡病院
內科 外科 眼科婦人科診療
入院治療を諾す
殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血淸療法を施す
元神廟街第百三十四號
全科醫士 松岡玄雄（電話一五一番）

一、瀛船貨物運搬業
一、浮船及瀨取請負業
右營業精々勉强致し迅速御用辨可仕候
營口南永世街第二市場ヶ西へ入る
遼河運輸 同濟公司

七月六日午後八時開會（營口時間）アツセンブリホールに於て
本願寺軍隊慰問 活動大寫眞會
催主 營口佛敎婦人會
但し婦人の觀覽は入場券を要せず

靴製造并に修理
右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也
營口元神廟街郵便局官舍向ひ
桑田靴店

賣家附屬品共大安賣
望のものは下名迄　第一市場角岡本洋行
二本町元占領亭跡

病室增築輕便入院
是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に增築し輕便と懇切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收とす
○全身魔醉○局處魔醉○嶄新器械○無痛手術○
梅毒 婦人科 外科胃腸病 專門 日本醫院

和洋諸雜貨 食料品卸小賣 各種賣藥卸小賣
奉天小南門ノ後 中越洋行 中越大藥房
但シ賣藥部ハ隨時診察ニ應ズ
尙以後吉林長春ハルビン地方ヘ御越シノ方有之ノ上ハ聊カ御示談申上度義有之候ニ付御都合上御來訪ヲ乞フ

御披露
小亭義昔樣の御引立を蒙り日に增し繁昌に趣き候に付て今般京都より指折の藝妓一名及仲居を呼寄一層勉强仕候小亭の特色たる安價と輕便とを以て御客樣の御厚意に酬ひ度候尙夏向き丈は別に氷部を設け金時白玉何なりと御望に應じ可申候間何卒倍舊御引立の程伏て奉願上候
月日　元神廟街 翁亭

和洋 會席 御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町 日本館（電話百三十）
各位樣

濟生八方製造發售廣告
啓者敝社長山田氏夙爲衛生起見詳查日淸韓人之体質博探東西古今之神秘研究多年始得左開八種之靈藥于茲同志相集豫備資金一十万元創立日華製藥合資會社即經官准現將本社開設於營口永世街甲一六六號精撰藥材留意製劑自造所發明之濟生八方克已從廉專向日淸韓各地方出售且卜要地設在分舖或寄售處以期衛生之洽及而斯十劑以上則爲薑賣特行折價切盼中外貴客監其誠實無欺藥效亦異尋常陸續賜顧是荷
（仁）爽快丸（芳香淸涼驅邪避瘟誠是常備之靈丸也 立消飲食之毒兼淸口內即是食後之要劑也 忽去口內悪臭能美音聲最爲接客之佳品也）
（義）腸胃散（健胃固腸速化飲食眞是天下之靈散也 縱雖多年難症服膺數次無謂未曾全癒 則爲小兒下蟲之特效藥其名嘖々于世）
（禮）婦女散（不論各般常症並胎產諸忠靈驗如神所謂婦人專用之妙散也 凡婦女已迄妙齡之後須備此藥常爲袖中之至寶）
（智）鎭腦散（專鎭頭腦並和神經藥效顯著誠是未曾有之奇方也 快通大小二便以解秘結而和腹內最爲古今之良劑也）
（忠）消熱丸（消散邪熱立使心身舒暢神效偉大眞是必携之靈丸也 縱雖危急熱性當其初期取用靈應不誤立以全治）
（信）掃毒丸（專治楊梅瘡毒以及一切毒瘡紡力無比眞可驚之秘劑也 特有掃盡小兒胎毒瘡恰似霜風吹枯葉之奇効）
（孝）淸明水（專治各般眼疾之靈水不論輕重一經用過立有靈驗盲者復明 能適一切耳患之神液不拘久暫一過點用奏效異常聾者再聽）
（悌）瘡傷膏（專治瘡傷等身面諸疾之妙膏即一擦用應效立著痛癢忽止 又遇蜂螫叮螫等諸虫毒宜將此膏擦敷患處㾗痛立治毒氣悉散）
營口永世街甲一六六號
日華製藥合資會社 敬白

安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半
溫泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁
眺望絕佳今ヤ新綠滴タルノ下淸流掬スベキノ仙境タリ
滿韓境上唯一樂園
五龍背溫泉

當溫泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ
効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂痲質斯、黴毒、癩病等ニ特効アリ

營口 三友洋行雜貨部廣告
新荷着
高等化粧品各種　新柄子キタイ
旅行用鞄及靴　氣發油ランプ
新形夏帽子及鳥打帽子
雨合羽　長靴　姿見鏡各種
四季造花
御婦人用小間物

陳列　店頭　つり切

七月三日より十五日まで
第二回夏ものの荷着大賣出し
從來の通りくじ引景品を呈す
永世街 (キ) 木村呉服店 (電話八十八番)
(營口西北街)

石材 石灰 大販賣
英治洋行 (電話三二)

東營口西北街
裕和盛
電話八一番
東清鐵道 遼河 貨物運送業
雜貨商
新荷着
朝日ビール 日本酒洋の鶴 洋酒、食料品 和洋罐詰、食器 內外煙草、葉紫 エジプト、文具 化粧品、金物類 肥前白米、醬油 酢、木炭、其外 色々 卸並に小賣
彩票
毎月 大連 南洋 湖北 發賣
本店 長崎
支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

○板材木 ○蚊張
○金物類 ○金庫
○疊建具 ○花莚
○椅子テーフル ○ペンキ
○洋燈類 ○文具
○鰹節雜魚 ○紙類
○醬油 ○罐詰
○酢
○其他雜貨色々
新荷着大安賣
㊂ 石光洋行
營口西北街
遼陽西門外
石光洋行支店

新荷着
裝飾用簾 洋食用品 肉碎器 秤卅六貫以下種々
手提金庫 コッピー用附屬品 (電話五號)
窓掛及附屬品 夏帽子各種 戶田式濾水器 宇治新茶
ワイシャツ及カラー 學校用文房具各種 各種復寫簿
關東公司雜貨部

氷
軍政署衛生課檢査濟 田庄臺大盛貯氷公司 飲料好適
發賣元 營口元神廟街成功號三階 田庄臺大盛貯氷公司販賣部 (電話一三四)
特約店
大連信濃町市場前 大原商店
營口二本町 丸山氷室
營口永世街 衛生軒
營口永世街平野町角 山田氷室
營口第二市場前 松木氷室

土木建築諸木料
板子類
砂利 便利瓦
マツイド
九州セメント
オルドァプチウ井スキー
廉價販賣
營口靑堆子綏定門外
志岐組
商業部

資本金參拾萬圓
日清合股
(昌)
營口元神廟街第貳九八號
滿洲昌圖株式會社營口分局
總局 盛京省昌圖府東街
既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽
本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東清鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房
兼辦國內外鐵道又海外轉運(與大淸通運公司連接)東淸鐵道沿路樞要各站分局現方在設備中倘蒙惠顧除祈貨客親自到本賬房及各處分局賬房面議爲荷特此謹白 倘路途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價包補此

梅毒、そう毒、しつ毒胎毒、よこね、かんそう其他諸毒、又ハのぼせ、頭、顔、頭、手足に腫物生じ困難なる人一日も早くためし見よ
諸毒下し
毒掃丸
一名一ヶ月丸
輕症ハ二三週間重きも一ヶ月間ニて全治すべし故に一ヶ月丸の名有り

大日本帝國東京市山崎帝國堂大藥房製劑 毒掃丸
本劑實爲梅毒專治之靈葯故瘡毒、楊梅瘡、胎毒濕毒、淋毒、天梅毒、便毒、痔瘡、及筋骨痛梅毒性咽喉爛及ヒ中紅爛先天及後感梅毒性眼疾頭痛耳鳴等症服本劑其効神速的確恰如操左劵凡用本劑者病毒輕者則二禮拜乃至四禮拜全癒重者則百日乃至百五十日除根萬無一悞若無病之人常服本劑能快通大便排泄百毒庶足以徵其効驗也
●定價四日份 三角 ●一禮拜份 五角
營口永世街(司法部前)
總經理批發 回天堂三木大葯房 (電話百九十番)

喜久洋行
啓者本行專售東洋各種木料板片及亞鉛洋鐵瓦東洋大塊炸子消毒生石灰洋釘木炭等物敝行在靑堆子自置棧房堆積貨物裝船裝車一概方便物美價廉格外公道倘蒙 中外紳商賜顧者請到本行面議是荷
本行主人謹白
開設永世街第二小鐵道市場路東 (電話一五二)

自造
煉瓦 ●瓦
並に各種石材販賣
營口靑堆子
加州組 (電話八十六番)

廣告
高等麥酒スペシヤルライト
スペシヤルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり
本月一日より麥酒取引は一切現金にて御願申上候
六月
釀造元 大日本麥酒株式會社
滿洲一手販賣店 營口元神廟街 關東公司雜貨部 (電話五番)
分店 奉天四平街電話十三號 關東洋行

軍政署登記濟
正隆銀行　隆記洋行
(電話二百十番)

凡人聲氣相投者則呼吸無分事理通達者則中外爲一茲有日本友人深水十八君老成練達長於理財先曾在正金銀行執業多年不但言語風情無不熟悉且於銀錢之調度尤能精通敝等與之交久深知其爲人因集銀十六萬圓開設銀號名爲正隆現時先湊一半作爲有限之責深水君爲總理彼任無限之責一切匯兌存欵借貸等情皆可通融格外克己中外紳商光顧者請駕臨是幸
股東謹啓

本行は資本銀十六萬圓現拂込金額に對する有限責任にて日本親友深水十八君を聘し無限責任社員として行內萬般の事務を支配せしめ今回其二分の一を拂込以て開業仕り早朝より夜半迄執務預金、貸付金、爲換其他銀行一切の事務取扱ひ殊に長崎、神戶、大阪、東京、橫濱、上海、天津地方には日本の銀行と引合有之候間爲換御取組には至極御便利かと存候尚ほ詳細の事は御來行の上御問合被下度候

天は自ら助くるものを祐く
涵養省察

本行係正隆銀行總理人深水十八創立開在東營口西北街第二三〇號代客專辦出口餅、油豆等所有土貨進口新樣機器東洋大宗各色貨物誠實無欺格外從廉士商賜顧者請到櫃上面議
本行主人 敬白

小生儀今般上記名を以て豆、豆粕、豆油其他の輸出品及各機械並日本品各種委托賣買業を開始候に付きては多少に係らず續々御注文被下度尤も手數料の如きは可成低廉に專ら誠實を以て旨とし永遠に御取引相願度候
東營口西北街第二三〇號
支配人 深水十八

開店
一週年大賣出し
六月二十五日ヨリ七月十日マデ 正札一割引
東京新形浴衣地
呉服太物類
化粧品小間物類
陶器類食料品類
日用品雜貨類
石原商店
永世街第二市場東

列車時刻
山海關發前八、一五　北京發前八、〇〇
塘沽同后二、一〇　天津同前一一、〇九
天津着三、三四　塘沽同后一二、三〇
北京着六、四五　山海關着六、一〇
大石橋發前八〇五　后二一〇五　大石橋發前
南關嶺后　奉天
大連着　鐵嶺
開原　昌圖

木局
東青堆子橋南
淡谷木廠

永世街一四一（森病院三軒目）
土木建築用鐵材料　內外鑄物諸般
定商會門街東　喜所

豫報
昨日の氣溫
最高溫度八十二度六
最低溫度六十七度一

宮門抄

初九日
工部　鴻臚寺　正藍旗值日無引見　溥良因伊子授員外郎謝
恩　綿文因伊子娃留署謝　恩　鉄公等由口外賜奠回京請
安　良秦續假五日
召見軍機　外務部遞封奏一件

奏議

署粵督岑奏請改設直隸州並添設知縣撥歸管轄摺

奏爲請改直隸州並添設知縣撥歸管轄俾資控馭而重海疆恭摺具陳仰祈
聖鑒事竊維設官分職既貴因地而制宜尤在隨時之通變廣東陽江直隸同知一缺隋時初建縣治歷唐宋元以迄前明或改南恩州或爲陽江縣遞有更易我　朝因明之舊以縣隸肇慶府迨同治六年前撫臣蔣益澧會同前督臣瑞麟奏請改爲直隸州管轄陽春恩平開平三縣嗣因開平縣紳士以隸州不便赴部具呈咨行改議而陽春恩平兩縣紳士亦請仍隸府屬經前督臣瑞麟前撫臣李福泰准將陽江直隸州改爲直隸同知屬於肇陽羅道上年復經臣與前撫臣張人駿奏請撥歸高雷陽道統轄此該同知今昔沿革之大略也臣查陽江濱臨洋面島嶼紛歧西達高廉東連廣海實爲海疆重鎭固非品秩較崇之員不能控制而陽春恩平二縣地處肇慶之南距府城各數百里距陽江僅百數十里道府遠駐肇郡中隔大河稽察既有未周緩急更難援應陽江則犬牙相錯節節毗連且其間箐密山深夙爲土客所雜居盜匪所出沒彈壓巡緝會辦之事尤多蔣益澧等之請隸陽江至爲允當旋復改議實非形勢之宜又廣州府屬之新甯縣轄境五都有上下新甯之稱上新甯居縣之北界連新會轄平康德行文章三都地屬內河知縣駐焉下新甯居縣之南界連陽江轄銼峒海晏兩都地處河濵縣丞駐焉銼峒都內有廣海寨城即爲縣丞建設衙署之所該處商賈輻輳市廛繁盛而盜賊滋多附近之大隆峒尤爲匪徒窟穴往歲重煩兵力始克蕩平自上新甯至下新甯相去百里以外廣海一帶路通港澳幅員綿亘山海交衝一縣令治之恒慮鞭長莫及佐以縣丞權力有限緝捕巡防難期得力計非量爲改設不可臣統籌嶺海險要熟察地方情形陽江陽春恩平新甯四屬壤地相接而或隸高州或隸肇慶或隸廣州該管之道府既有區分即鄰近之廳縣難期聯屬近年賊匪猖獗舉辦清鄉彼界此疆殊多隔閡欲求治理之便控馭之宜惟有仍照蔣益澧等原議改陽江直隸廳爲直隸州以附近各縣隸之作輔車之依資指臂之使除開平縣不與連界勿庸改隸外應請將陽春恩平二縣屬於陽江該二縣前因生童不願赴州應試致有梗阻今則科舉已停士林無可藉口並擬將新甯縣劃分爲二以上新甯爲一縣治平康德行文章三都仍其舊名歸廣州府管轄以下新甯爲一縣治銼峒海晏兩都名之爲廣海縣歸陽江直隸州管轄該縣即就廣海寨城爲縣城擴充縣丞衙署爲縣署應請裁去新甯縣丞一員添設廣海縣知縣一員作爲衝繁難題調要缺由外擇其人地相宜者酌量升調揀補並設廣海縣典史一員亦請歸外選補該縣及典史俸廉役食等項悉照新甯縣知縣典史各缺支給教職閒員擬請毋庸添設新甯縣上川司墟巡檢改歸廣海縣管轄惟新甯本屬苦缺今既分治則地丁銀米均須劃撥徵收所得羨餘尤薄擬酌提公款津貼新甯廣德二縣俾資辦公而示體恤所裁之新甯縣丞董景韶照例作爲裁缺即用留粵另補至綠營正在裁減毋庸添設弁缺暫撥營勇駐防廣海縣城俟編就全省各軍再將營制更定此酌改陽江廳爲直隸州劃分新甯縣爲廣海縣與陽春恩平二縣併隸陽江之情形也陽春恩平廣海三縣既隸陽江所有刑名錢穀事宜悉歸該州審轉考覈仍統屬於高雷陽道不歸廣肇兩府管領惟既由直隸同知改爲直隸州該廳教諭本係復設應即裁汰其直隸廳訓導改爲直隸州學正並裁汰陽江縣丞司獄兩缺改設直隸州州判吏目二員與原設之太平司海陵島司兩巡檢均歸該州管轄至陽江直隸州同知本係題調要缺今改直隸州應請歸外酌量升調揀補現在正任同知田明曜雖調署別缺仍係本缺之員直隸同知與直隸州品級相同即請以該員田明曜補授陽江直隸州知州並請以現任訓導張鏡芙移補該州學正裁缺之教諭鍾環瞻歸部選用裁缺之縣丞現尚未銓補有人應請毋庸選補裁缺之司獄宋紹新作爲裁缺即用留粵另補至縣丞司獄本係選缺今改州判吏目仍請歸選所屬巡檢祇應更正官銜毋庸改易員缺至陽春恩平二縣均係將缺改隸並無升降其現任大小各員應請悉仍其舊所有改添各缺應行換鑄印信條記及一切未盡事宜俟奉　旨允准後再行核明奏咨辦理臣竊維地方之繁簡形勢之險易皆治理完缺所攸關今昔之情形既殊不能不變通以求盡利如光緒十四年前督臣張之洞撫臣吳大澂請升欽州爲直隸州添設防城縣知縣一年臣與前撫臣張人駿奏請裁改添設糧巡各道升崖州爲直隸州皆蒙　俞允今請改添陽江直隸州知州廣海縣知縣兩缺事同一律實於控制防緝大有裨益臣與廣東藩臬兩司商酌詢謀僉同謹恭摺具陳伏乞　皇太后　皇上聖鑒敕下政務處吏部議覆施行謹　奏奉　硃批該衙門議奏片併發欽

中外要聞

●電商西藏開埠　駐藏大臣有泰日前電致外部略謂昨接英印度總督江孜噶大克兩埠已於中英藏約申明開埠希貴大臣從速遵照藏約一律開埠以便通商等語應即照允以符條約希鈞部赶速簡派熟悉交涉之員並轉咨總稅務司簡派稅務司以便開埠聞外部以前派張京卿蔭棠已經首途故據實電復一面與赫官保磋商擬速簡派稅務司按藏番自古迄今閉關自守頗不願與他國通商往來以致性成頑固風氣未開然由此次藏約開放商埠擬與他國往來交接庶幾藏民風氣從此漸見開通乎

●俄使再三干預用人權　駐京俄使璞科第君前赴北戴河避夏因有要公於月之初五日回京聞日前親赴外部與某大員面晤再請派周冕辦理江省交涉並談及程將軍略云程雪帥不通交涉頗有妨于中俄交涉請另派員接任等語然外部堅詞拒斥略云周冕刻在北洋委差斷不能派赴江省至于程將軍調任事係本部權限外人未能越權干預云云璞使無辭而回按璞使推薦周道詆謗程留守不止一次再三言之其居心不堪設想仍希外部依然堅持拒其邀求以抵制其奢望云

●派津鎭路幫辦大臣　政府前派袁慰帥爲津鎭鐵路督辦大臣而未派幫辦大臣故政府現已集議簡派孫京卿寶琦爲幫辦大臣助袁慰帥速與英德兩國磋商以便早日開工按津鎭鐵路係南北兩清交通要路其於政治商務上利益不可限量執筆人深望從速開辦此路以資商工業之發達

●唐侍郎赴津與袁督議事　唐少川侍郎日前出京赴津與袁宮保磋商要政茲聞官場人云璞使藉口未肯開議滿約擬俟秋期開議然唐侍郎早洞悉俄國用意所存恐遷延日久至于含糊了事故此次赴津與袁督面商中俄議約擬定對付方法未悉袁督意見如何亦可揣度唐侍郎此行關係如何矣

●復請派軍出關勦匪　奉天趙次山軍帥現又電告政府云前因關外馬賊縱橫曾調淮軍赴東駐勦邇來彰武匪仍屬猖獗本省兵力單弱難期勦捕希轉電袁宮保即將駐紮永平府之陸軍第二鎭馬隊派往出關駐紮幫勦彰匪以免匪勢蔓延聞政府昨已據情電告袁宮保矣

●贛藩周浩開缺　江西藩司周浩現因張香帥查辦奏參聞已奉　旨着即開缺矣

●議稅務大臣之薪費　政府近日正在籌劃稅務大臣薪金之事據官場人云此事政府甚爲躊躇蓋政府某大老之意謂稅務大臣之職在總稅務司之上則薪水雖不必較總稅司爲多然亦須平稱而政府又謂如果照總稅司薪水一律則加之公所辦公經費等項統核之每月須萬金之譜則是添設稅務大臣又添出一項費用故擬從節省籌劃云云

●外部據滬道電略謂　外部據上海道電略謂工部局在租界外寶山境內之北四川路及大寶里南林里虬江橋殷家木橋永順里承德里德生里等處偏釘門牌派捕收捐經四次照會租界領袖僅以領事公會尚須會議空言搪復而工部局悍然不顧昨又在來安里收捐並言如不出捐定欲拏人居民積忿難平集議抵拒職道聞信連夜飭縣親往彈壓勸諭毋得暴動一面照催領袖領事飭禁惟各領雖亦有不以工部局爲然者而擴充勢力未免同情亦皆不作公論若不急行阻止衆怒難犯必致生事務求大部主持力爭切商駐京公使嚴飭工部局務守條約毋得越界派捕收捐以免釁費而保主權如再任意妄爲設滋事端華官不能担其責任此事關係大局伏乞迅賜力阻不勝急切待命之至一面仍會同督飭商董將北市築路設巡諸事趕緊籌辦以冀補救等語外部得電後當即與駐京公使往復磋商再三駁阻尚未就緒云

●湘省飢民不靖　湘省西境地方一帶米穀匱乏市價殆倍蓰於前故居民惶惶頗有不穩之兆現已由官憲嚴戒一切

●浙江匪亂近況　浙省新城縣匪氛不靖一節現於日前將湘溪鎭教堂焚燬

●英商對滿洲之意見　滬埠英商等開會決議按考察滿洲事員之陳述於大連開設海關於韓境輸入滿洲貨物宜設法限制又因毀拆遼河鐵橋尙未興工修築船梗塞商務窒礙吃虧非淺宜從速鳩工修築現稟請北京公使與外部商議

●德美商民稟駐京公使　德美二國商民亦仿照英商擬向北京公使稟議

●埃及處置戕英員案　埃及人於坦達地方戕斃英國將士一案現由埃及政府向犯罪地宣明將首犯四人正法又將從犯四人罰終身苦工又禁錮十二人且加以笞刑五十云

雜報

●刼案誌畧　昨聞南村來人傳說本埠之東南秦家窩舖地方有某農戶家稱小康前夜突被賊人破門闖入搜刦財物若干惟所言不得其詳亦并未言及失主之姓名及賊之來因旋聞該失主某業向一道溝巡警營處報盜該營以不知賊之蹤影無從設法緝捕刻尚正在訪拏尙無端緒云

●鼠竊猖獗　昨晨菜市地方正値早膳之前購買菜蔬者紛紛擁擠旋有一賣菜者忙碌之間被竊去現錢二串得隙逃竄當被失主知覺追至興順魁南胡同將盜錢之人獲住該竊賊謂其誣枉反將賣菜人推倒拳毆勢將莫解適有未往行人從中勸導該賊始行釋手似此當街行竊尙敢拒毆失主有巡緝之責者亟宜加意訪查勿任肆行無忌云

●久旱甘霖　昨聞友人云天津西南南皮甯津二縣毗壤該境於春初之時迄今五月不雨農人望澤孔殷懸耒於室不能耕種現聞本月初旬始得甘霖農田沾足四鄉農人乃胼胝幸勤從事南畝云

●東省米價驟漲　又聞山東來人云時下登萊一帶田苗在地適値缺雨之際刻已月餘不雨雖有施種各類雜黍者其苗均難望發生集市之紅粮前價大錢一吊九百文現忽漲至一吊一百餘文各處集鎭尙無糶主云云

叢談

雪鐵盧隨筆

●兎罝錄

岑毓英　公生平無聲色蒲酒之好讀書觀大略不爲章句居官昧爽而起夜分而寢勾稽公牘裁量庶政皆能務其大者遠者尤長於應變善馭悍將楊玉科初頗驕蹇嘗殺仇持其頭血模糊謁公意詰責即爲變公笑而釋之李維述殺人莫敢忤公惜其勇不深罪二人後皆爲名將公天性仁愛所至農夫牧豎猓苗皆許來見問其疾苦賚以酒食皆歡欣羅拜在滇廿餘年恩信感人深父老兒童皆稱曰老宮保

雪鐵子曰治兵者而無聲色蒲酒之好此太公所謂止欲將也岑襄勤公之功業其根本在此矣然吾又聞胡文忠公好聲伎彭剛直公不廢酒溺此者或緣是以解嘲而不知文忠之好在於少年自經陶文毅公之訓戒益折節讀書矣非入官後猶如是也剛直則善飲又孤介絕俗有豪氣此量能容之故不爲所困非飲則醉醉則任性者比也然吾以爲學文忠學剛直猶不如學襄勤襄勤者可爲法於後世者也

沈葆楨　公生平學在不欺凡事必求心之所安自少至老如一自言在廣信時已分萬萬無生理以故當存亡利害之交輒卓然有以自立而經理庶務不操切不張皇絕去世俗贍徇之見體不耐舟楫臺地風浪之險兩次東渡雖甚暈眩呻吟而志不少餒義有不可者毅然見於詞色朝廷數以時政下詢公侃侃獨持正論不事模稜而虛懷善變慮以下人推賢讓能惟恐不及自奉極儉約廉俸所入隨手散給族戚卒之日不名一錢

雪鐵子曰咸豐六年沈文肅公出守廣信時江西列郡皆陷賊廣信亦岌岌可危文肅至則城內洞開官吏軍民走且盡矣夫人林氏刺指血爲書乞援於浙將饒廷選（廷選爲林文忠公舊部時駐軍玉山）文肅復召募鄉勇厲氣守城卒合力以破賊死生利害之交卓然有以自立豈不智哉吾固崇拜文肅吾尤崇拜林夫人也

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館 料理 **第一樓** 元神廟街九十六號（電話八四番） 營口ホテル

料理 **入船亭** 永世街百八十三號 谷初次郎

料理 **一力** 營口永世街 店主 堀万助

旅館 **日營ホテル** 河岸通り 店主 井上源吉

料理 **東京館** 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 **東京樓** 營口新市場前（電話一八七番、四番） 店主 熊田兼次郎

旅館 **東茂旅館** 西北街百七十三號正金銀行西三程

料理 **千鳥** 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 **沖の島** 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 **吉野亭** 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 **高砂ホテル** 西北街（電話一四五番） 店主 片山小みつ

料理 **樂々亭** 營口元神廟街 店主 武部貞

旅館 **大和館** 永世街三十四號（電話十一號） 店主 前田九一郎

料理 **萬梅** 營濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 **まんなをし** 永世街字二本町二百平九号 店主 和田常松

和洋料理 **公樂園** 南永世街

料理 **喜樂亭** 營口平野町

旅館 **東雲旅館** 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

料理 **醉花園** 旅館 **澁谷旅館** 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

さるそば **第一更科** さるそば **第二更科** 營口元神廟街 永世街勧の端角

和洋料理 **松月亭** 營口元神廟街一四三号 店主 住松傳太郎

料理 **都樓** 平野町 店主 阪本ちか

旅館 **品川館** 營口永世街一六五號

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿 **瑞豊館** 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話 號）

會席御料理 高等御旅館 **天神樓** 奉天小西關大街北側 温泉付大勉強キレーヂライシヒ（電話 號）

旅館料理店 **日盛館** 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男（電話 號）

旅館 料理店 **梅松館** 奉天城內灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話 號）

御料理 **梅ヶ枝** 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

高等御旅館 **茂林館** 奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店 **日章館** 牛肉すき燒 雞肉 **日章亭** 奉天小西關大什字街南へ入（電話 號）

御旅館 **瀋陽館** 奉天小西門外大街路北

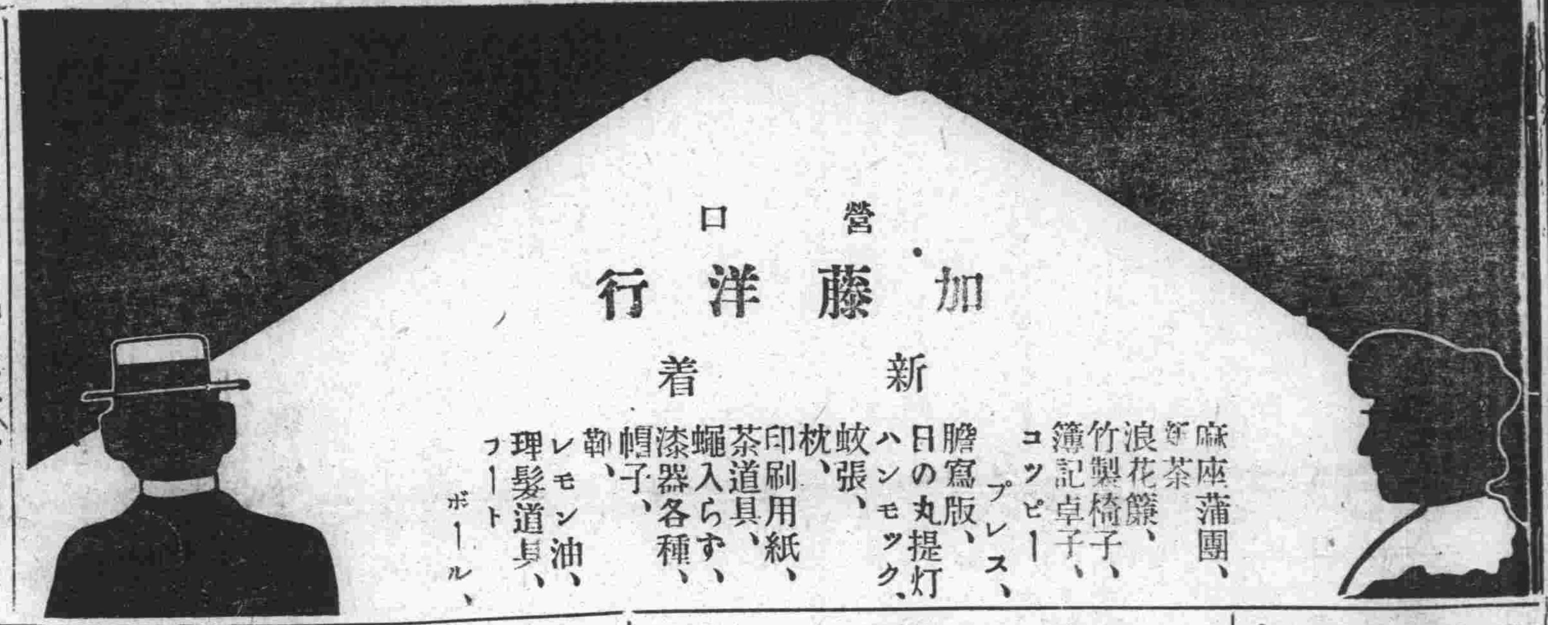
さるそば **更科** 營口支店 奉天小西門外金城館前

御定宿 **第二東京館** 奉天小西關第五分局八〇一〇號 館主 松田平四郎

今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑雅を主として旅館を專業に單ら御客樣の御便利を斗り內湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館 料理店 **新日奉館** 奉天大西門際 館主 濱田アヤノ

御旅館料理 **扶桑館** 奉天大西關大什字街 第五分局千〇六十八號 館主 堀田ハル 電話



◎**煉瓦販賣** 上り窯ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニテ御需メクダサイ 二本町 **高坂洋行煉瓦製造部**（電話九十番）

和洋高等御料理 **遼東館** 遼陽城內東街一八九號 電話 號

御料理旅館 **三河樓支店** 弊館は奉天城外十間房第一の風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本風の二楷造家屋新築し樓上等ゝ暑に應ずる設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上 樓主 川上總吉

一週年の祝意 寫眞定價半減 木村寫眞館

弊館爰に一週年之祝意を表する爲め可か面白き趣向を以て御得意樣の御愛顧に報じ可申と存じ候處時節柄とて差控え更に突飛の勉強をなし薄利にして勞力を惜まさるの考にて寫眞定價を半減となし艶麗にして巧妙なる寫眞を御寫し申上候間天氣の晴雨に不拘續々御來寫なし被下度候

七月五日より 八月五日迄

二に兼て此の技に敏腕にして熟練なる村田寫眞師を招聘なし器械の豐富は申二不及館主一同協力嶄新なる技術を奮て御寫し申上候

新着 **金升洋行 盛進商行**

土木建築並ニ測量設計請負 營口靑堆子綏定門外 **志岐組**

輸出組合 日本官煙專賣處廣告

江副洋行及代々木煙公司の儀は從來合同營業として日本政府製造煙草一手販賣の特許を受け露領へ輸出致居候處今回之を擴張して輸出組合を組織するの認可を得更に滿洲地方の各營業をも合同致候上大連安東縣營口遼陽奉天鐵嶺の各地に日本官煙專賣處と稱するものを置き專ら華客の御便利を圖り誠實廉價を旨とし營業仕候間倍舊御引立被成下度奉願上候敬白

兩切紙卷煙草 一ロングライフ 一リリー 一チエリー 一スター 一ゴールデンベット 一オリエント

口付紙卷煙草 一朝日 一大和 一敷島 一ほまれ

刻煙草 一福壽草 一白梅 一さつき 一あやめ 一はぎ 一もみぢ

代理店所在地 旅順口、金州、蓋平、新民府、昌圖、鳳凰城

本號係代々木煙公司江副洋行兩號合辦。現開設在大連安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺等處。專售日本官造紙煙朝日（紅旭牌）大和（雲花牌）敷島（蓬島牌）[illegible]禮（軍旗牌）隆佑來福（雙仙鶴牌）利利（百合花牌）捷利（櫻花牌）斯達（星象牌）哥耳ト巴德（蝙蝠牌）第九種及煙絲福壽草、白梅、杜鵑花、菖蒲、胡枝、紅楓、等六種、蘭馨佳馥、不啻品色結佳。甚適衞生。而價極廉。均己馳名。大方士商賜顧者。請光臨本號或經理。面議可也。此仰

代理店所在地 旅順口、金州、蓋平、新民府、昌圖、鳳凰城、

營口河岸通（舊代々木商會跡） **日本官煙營口專賣處**

古料理 滿月

平野町（電一六二） **滿月支店** 平野町入口 店主 青木勝惠

御料理本店 **金城館** 奉天小西關新來當街々（電話十九）

御旅館 **金城ホテル** 奉天小西門街大什字街（電話二〇）

御披露 追々暑氣に相向ひ申候處各位倍御淸榮奉大賀候陳は今般營業擴張と同時に營口支店に於ても在來の婦人一切入れ替へ新に江戸生粹の美人數十名を呼寄せ候從つて趣向も更り千編一律の遊びにあかせられ候御方樣には一入の興味を感ぜらるゝと奉存候尚樓上等も暑さに應し設備を改め候間御納涼旁あつさりと晩餐を召させらるゝにも好適と存申候御散歩の折柄是非共御試遊被下度伏て奉願上候

御料理支店 營口永世街 **金城館**（電話八三）

御旅館支店 營口永世街 **金城ホテル**

御料理支店 大連市吉野町 **金城館**

御旅館支店 大連市吉野町 **金城館**

御旅館 和洋御料理 **奉天館** 奉天軍政署指定旅館（電話十四番） 奉天城內鐘樓南大街

日淸倶樂部（電話十五番） 奉天城內大南門裡大街

麵麭製造 西洋洗濯 靴製造 日本大工 理髮 裁縫

氷 御小賣所

爲替相場（七月五日）

日本向 百〇二圓二十五錢（一覽百圓に付）
上海向 七十一兩八分ノ三（同）
天津向 一百三圓六十二錢五厘（百弗に付）
芝罘向 一百〇三圓六十二錢五厘

日本品最近物價表 加藤洋行

紙類
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙 仝 七圓五十錢
一仙花紙 一帖（六十枚） 六十錢
一塵紙 一〆 一圓七十錢

一仝 二十枚續 三錢二厘以上四錢
一狀袋 百枚 十三錢以上十八錢

室內裝飾品及寢具 矢野洋行
一蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
一座ブトン 十帖 八圓五十錢以上三十五圓
一[illegible]

一疊 二圓六十錢以上三圓
一薄緣 十枚 八圓
一麻緣通 一疊敷 三圓
一綿緣通 仝 三圓五十錢
一由加多緣 仝 一圓七十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months

本紙定價
一枚二付 銀四仙
一ヶ月前金 銀八十仙
半ヶ年前金 銀四弗八十仙
一ヶ年前金 銀九弗六十仙